

町民体育館 建設を問う

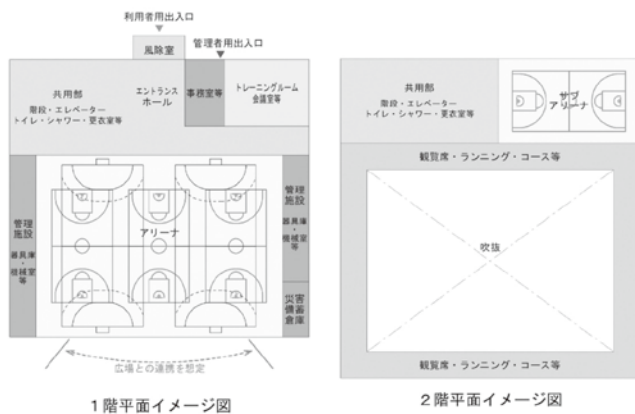
答 芽出しをした。建設計画を推進していく

問 町民体育館建設を問う。町長の二期目の約束（広報はえばるNo.529）にアリーナ建設はなかった。どういう経緯で組み込まれたのか。

町長 令和5年3月に策定した黄金森公園屋内運動施設基本計画で体育館整備を位置づけた。アリーナは、体育館内部で競技や活動が行われる具体的な区域を指す。

問 自分が想定するアリーナと、執行部が言うアリーナが違う。見ている部分が大きいのがアリーナで、試合をするスペースが重要ならジムではないか。

町長 基本計画では、競技をする場所、大きな広いフロアの部分をアリーナと説明している。



「黄金森公園屋内運動施設基本計画」中のアリーナイメージ図



大宜見 洋文 議員

問 町民のための体育館なら、大多数の町民が主体になつて構想の段階から関わらるべきだ。本町商工会の建設部会に設計、建設まで関わってもらう。また、町内に支店を持つ銀行の皆さんにも資金運営に関わってもらう。イベントを開催する町民の受け皿は、観光協会をメインに郷土芸能活動が盛んな文化協会、全国で優勝してすばらしい成績を上げている南風原高校郷土芸能クラスの人たちが進学する県立芸大も卒業してなかなかそういう仕事に恵まれなかったりで、そういう職業も創設できるのではないか。こうい

う議論も必要だ。来年4月の町長選の争点の一つになると考えるが、町長にはどれだけの思いがあるか。

町長 既に芽出しをした。建設計画を推進していく。基本的な部分は最初から町民の皆さんにPPPでいくとか、PFIでいくとか、可能性調査とか、そういう段階で知らせている。基本計画を見直し、公園計画面積を拡張し体育館整備する計画だが、今の社会情勢を考えると、検討委員会が出した面積で本当に実現できるかなという部分はある。しかし造るか造らんかという議論ではなく、どんな体育館を造るかの議論をお願いしたい。

一こんな質問もしました

- 農業従事者の高齢化と後継者不足の課題への解決策は
- 生物多様性増進活動促進法とは何か
- 農福連携を問う
- 小中学校PTA離れの課題について